

「1、2、3」

「1、2、3」について

私の開発したキーワードの中で「**簡単で、しかも長く使えている**」優れたキーワードです。それまで使っていた「**素直な心になりますように**」（松下幸之助さんの愛用したキーワードの変形）が使えなくなって困っていました。

そんな時、松下幸之助生誕の地の和佐遊園の掃除をしていると、近くの松下公園で幼稚園児が運動会をしていました。

体操のかけ声「1、2、3、4・・・」が聞こえてきました。それで「誰でも知っているから、親しみやすいキーワードにいい」と思いついたものです。

それ以来3年は使っています。

いまでは「1、2、3」と心で唱えるだけで**条件反射**のように「集中」が始まります。

キーワード作成の注意点

お釈迦さんは「暗示をかける」ような事をしては いけないと言われていたということです。

自分のことを弱いと感じている人は「何か強くなるキーワード」作りたくなるかもしれませんが、それは余りよくないようです。なぜなら、もし「私は強い」というキーワードを作ったとすると、それを使えば自分が弱いことを思い出して、かえって使いづらいと思うのです。

もしその「キーワード」を気にしないで使っていると、自分が強いような気になって、本当だったら「危ないからやめよう」というような場合に、「強気でついやってしまった」という事が起これば大変だから暗示をかけてはいけないのだと思います。

「1、2、3」は何の有り難味もないから、かえって「冷静さや平常心」につながります。

宗教との関係

信じる宗教をお持ちの方はいつも使っている「祈りの言葉」を使われてもよいと思います。「南無阿弥陀仏」「アーメン」などは使えそうです。

松下幸之助さん

ちなみに私が敬愛している松下幸之助さんは**毎朝**30分から1時間の瞑想をされていたそうですが、キーワードは「**素直な心になれますように**」だったという事です。素直な心は深い意味があり一般の人には使いづらいかもしれません。意味をお知りになりたい方はネット検索「PHP 研究所＋素直な心になるために」でお読みください。悟った人の心がわかります。